

償還交付運用報告書

スター・マンスリープラス

追加型投信／内外／資産複合

繰上償還

作成対象期間（2017年9月5日～2017年11月2日）

第169期（決算日 2017年10月2日） 最終期（償還日 2017年11月2日）

受益者のみなさまへ

償還時（2017年11月2日）	
償還価額	8,549円73銭
純資産総額	147百万円
第169期～最終期 （2017年9月5日～2017年11月2日）	
騰落率※	3.3%
期中分配金合計	10円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「スター・マンスリープラス」は、信託約款の規定に基づき、2017年11月2日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」および「損保ジャパン日本株マザーファンド」に投資し、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図り、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

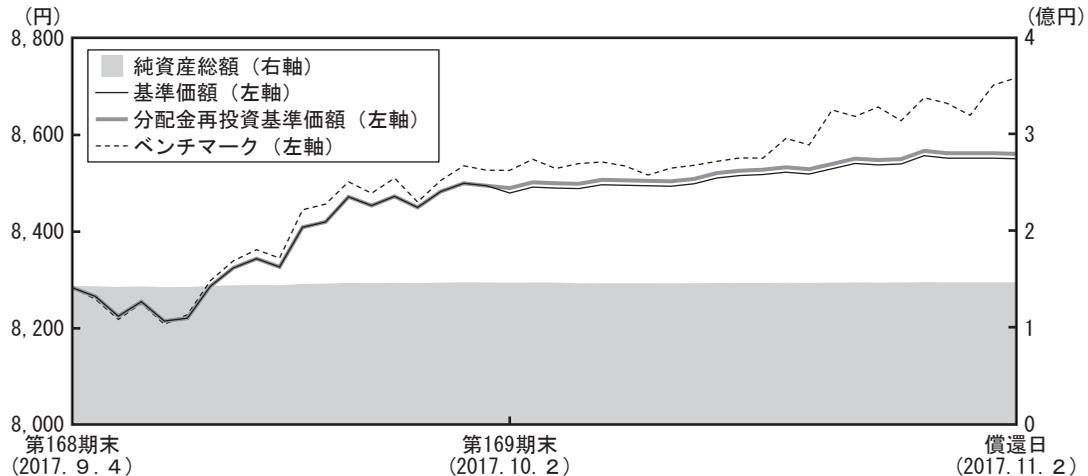
URL <http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

■ 基準価額の推移



第169期首：8,283円

償還時：8,549円73銭（期中分配金合計10円）

騰落率：3.3%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額およびベンチマークの推移は、2017年9月4日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスで、設定日を10,000として指数化し、委託会社が計算したものです。

■ 基準価額の主な変動要因

(スター・マンスリープラス)

投資対象である「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」と「損保ジャパン日本株マザーファンド」が上昇したため、当期の分配金再投資基準価額は上昇しました。

(損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド) (2017年9月5日～2017年11月1日)

期中の騰落率は+1.8%となりました。

円安ドル高が進んだことによる為替要因等が主にプラスに寄与しました。

(損保ジャパン日本株マザーファンド) (2017年9月5日～2017年10月27日)

期中の騰落率は+11.4%となりました。

国内株式市場が上昇したことに加え、業種配分が奏功した結果、当マザーファンドの基準価額は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

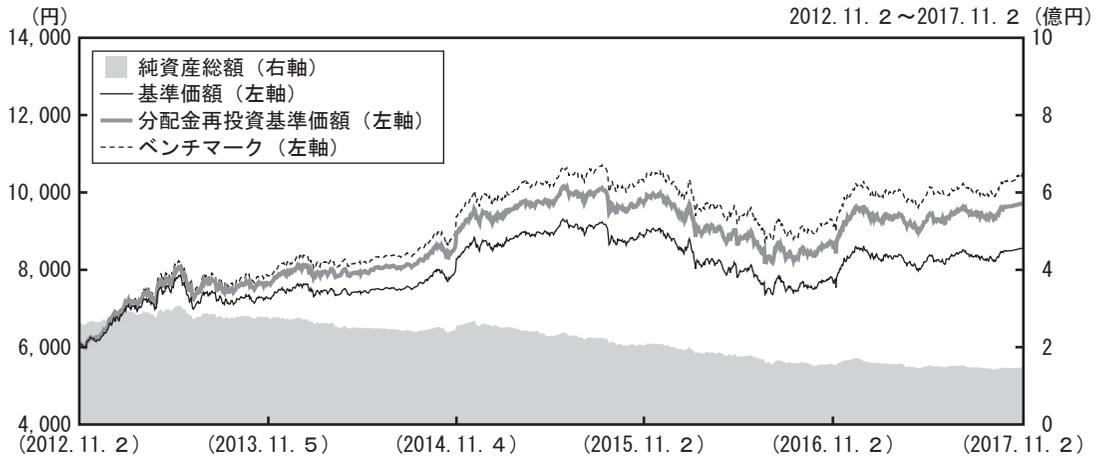
項目	第169期～最終期		項目の概要
	(2017年9月5日～2017年11月2日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	21円	0.248%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,446円です。
(投信会社)	(10)	(0.124)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(9)	(0.110)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{各期中の売買委託手数料}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(0)	(0.002)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	4	0.051	(c) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(4)	(0.050)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	25	0.300	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額およびベンチマークの推移は、2012年11月2日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスで、設定日を10,000として指数化し、委託会社が計算したものです。

決算日		2012年11月2日 決算日	2013年11月5日 決算日	2014年11月4日 決算日	2015年11月2日 決算日	2016年11月2日 決算日	2017年11月2日 償還時
基準（償還）価額	（円）	6,089	7,259	8,284	8,850	7,731	8,549.73
期中分配金合計（税引前）	（円）	—	360	200	140	140	130
分配金再投資基準価額騰落率	（%）	—	25.5	17.2	8.5	△ 11.1	12.3
ベンチマーク騰落率	（%）	—	29.0	19.5	9.6	△ 10.4	14.0
純資産総額	（百万円）	261	277	255	204	155	147

ベンチマークは、ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■投資環境

○米国MBS市場（2017年9月5日～2017年11月1日※）

MBS利回りは前期末と比べて上昇しました。

期初から9月中旬にかけては、北朝鮮を巡る地政学リスクに対する懸念が後退したことなどから、MBS利回りは上昇しました。

その後も、10月にFOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーによる政策金利見通しを示され年内の利上げ観測が高まったことに加えて、堅調な経済指標やトランプ政権による税制改革期待の高まりを背景に、上昇基調が続きました。

しかし10月の月末近くには、FRB（米連邦準備理事会）次期議長が利上げに慎重なパウエル氏が有力であるとの報道などから、MBS利回りは小幅に低下しました。

MBS利回りと同国5年国債利回りの格差は、好調な米国住宅市況等を背景に、前期末比で縮小しました。

○為替市場（2017年9月5日～2017年11月1日※）

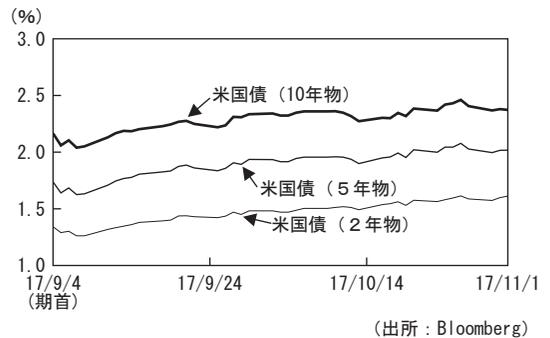
為替市場（ドル円）は円安ドル高が進行しました。

期初は北朝鮮を巡る地政学リスクに対する懸念が後退したことなどを背景とした米国の長期金利上昇を受けて、円安ドル高が進みました。

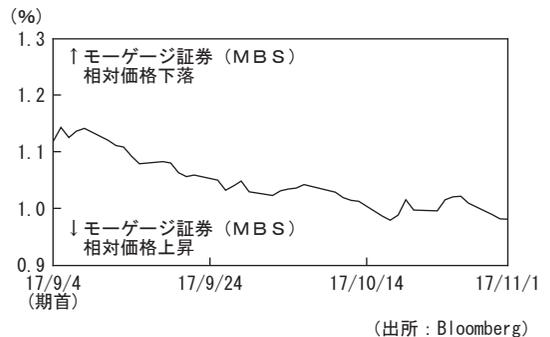
その後も、米国の年内利上げ観測の高まりや堅調な米国経済指標、トランプ政権による税制改革期待からドルが買われ、円安ドル高基調で進みました。

※「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」への投資期間における投資環境を記載しています。

米国債利回りの推移



MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デュレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

○日本株式市場（2017年9月5日～2017年10月27日※）

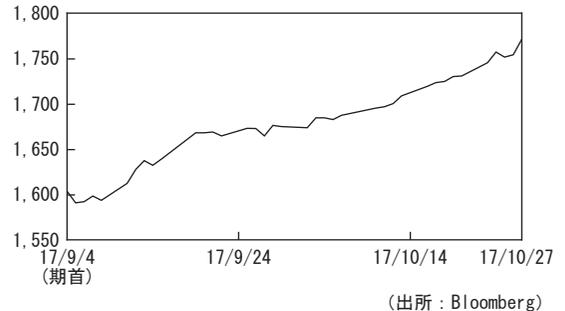
TOPIXは10.4%の上昇となりました。

期初は、北朝鮮がミサイルを発射するなど地政学リスクの高まりから下落しました。しかし、好調な米景気を背景とした米長期金利の上昇及び円安ドル高や衆議院の解散による安倍首相の政権基盤の安定化・新たな経済政策の策定への期待から、上昇に転じました。

その後は、国内外の経済指標が市場予想を上回る良好な内容となる中、IMF（国際通貨基金）が世界経済の見通しを上方修正するなど、国内外の景気の先行きに楽観的な見方が強まりました。加えて、FRB（米連邦準備理事会）による緩やかな政策金利引き上げが続くことへの期待から米株高となり、国内株式市場も上値を迫る展開となりました。また、企業の決算発表で良好な企業業績が確認できたことや衆議院選挙での与党の勝利も好感され、上昇基調を保ち、終値として年初来高値を更新しました。

※「損保ジャパン日本株マザーファンド」への投資期間における投資環境を記載しています。

TOPIX（東証株価指数）の推移



■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、主として「損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド」および「損保ジャパン日本株マザーファンド」の受益証券等に投資し、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指しました。

期を通じて、「損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド」と「損保ジャパン日本株マザーファンド」への投資比率は、概ね80%：20%の比率を維持した後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

（損保ジャパン-TCW・MBSマザーファンド）（2017年9月5日～2017年11月1日）

当マザーファンドは米国ドルベースで「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」を上回るリターンを獲得を目指しました。

当マザーファンドのデュレーションは、「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」のデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としております。デュレーションの推移については、総じてベンチマークに対して短めのデュレーションを維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

(損保ジャパン日本株マザーファンド) (2017年9月5日~2017年10月27日)

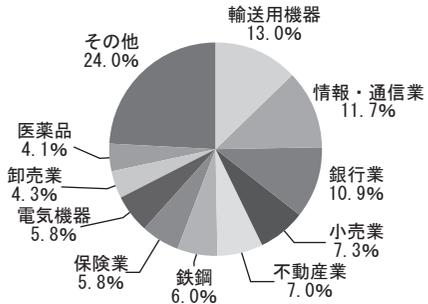
期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.4%です。

期末時点の業種別構成比率はグラフのとおりです。

当期間中に独自の調査分析に基づく割安度にしたがって銘柄入れ替えを行いました。

主な購入(ウェイトアップ)銘柄は東京海上ホールディングス、日本たばこ産業、ヤマトホールディングスなど、主な売却(ウェイトダウン)銘柄はJXTGホールディングス、パナソニック、長谷工コーポレーションなどです。

損保ジャパン日本株マザーファンドの業種別構成比率

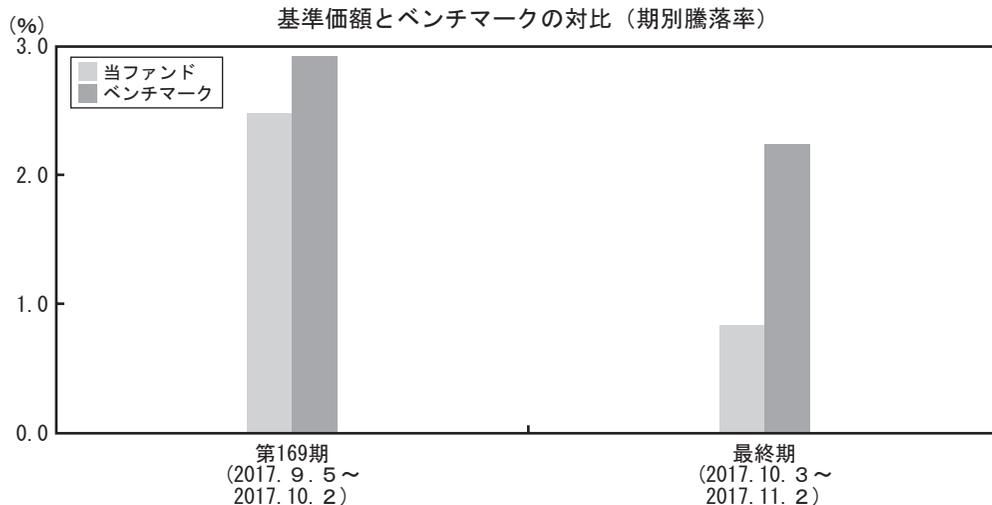


(注1) 比率は、2017年10月27日における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率(分配金再投資基準価額ベース)は、ベンチマーク(ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(円ベース)80%と東証株価指数(TOPIX)20%の合成インデックス)の騰落率(+5.2%)を1.9%下回りました。当ファンドは期を通じて「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」と「損保ジャパン日本株マザーファンド」を概ね80%:20%の投資比率で組入れておりましたので、次ページではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

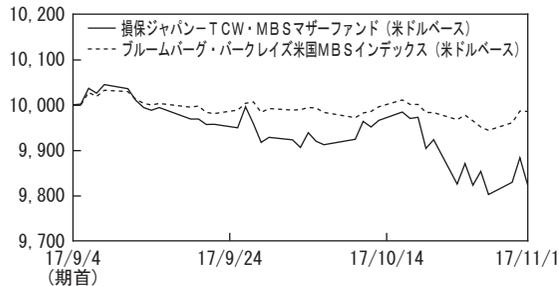


<損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異>

損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドのドルベースのリターン（2017年9月5日～2017年11月1日）は-1.8%となり、ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックスの-0.1%を下回る結果となりました。

当ファンドの償還決定を受けて円キャッシュ化を進めたことで、その後の円安ドル高の恩恵を享受できなかったことがマイナスに寄与しました。

損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックス*（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

<損保ジャパン日本株マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドのリターン（2017年9月5日～2017年10月27日）は+11.4%となり、TOPIXの+10.4%を上回る結果となりました。

ベンチマークとの差異を要因分析しますと、業種要因では、食料品、化学のアンダーウェイトや輸送用機器のオーバーウェイトなどがプラス要因、鉄鋼、情報・通信業のオーバーウェイトや電気機器のアンダーウェイトがマイナス要因となりました。個別銘柄要因では、神戸製鋼所のアンダーウェイトや長谷工コーポレーション、第一生命ホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因、三菱重工業、ジーエス・ユアサコーポレーションのオーバーウェイトやソフトバンクグループのアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。

■分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額の水準等を勘案し、合計10円の分配を行いました。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第169期	
	2017年9月5日～2017年10月2日	
当期分配金		10
(対基準価額比率)		0.12%
当期の収益		10
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		373

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

※設定来の運用経過については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

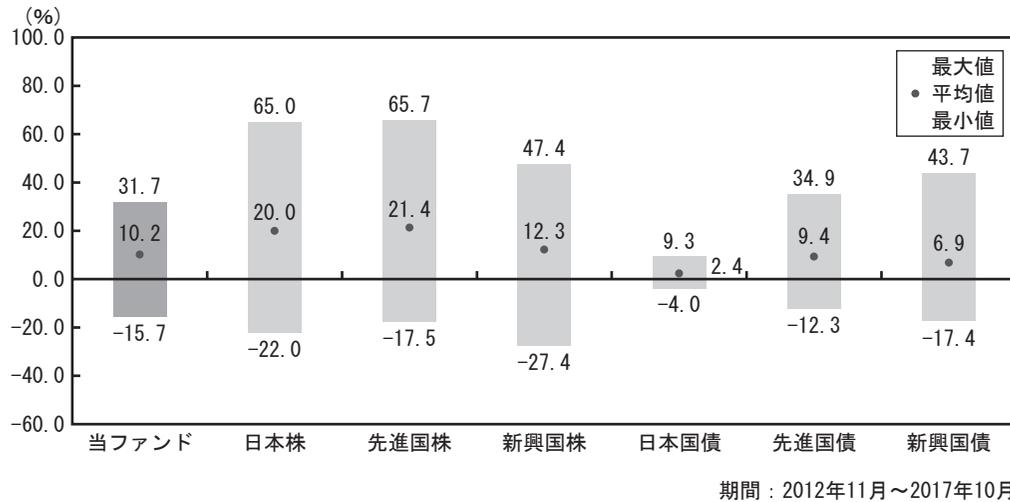
<償還を迎えて>

当ファンドは、2017年11月2日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2003年9月18日から2017年11月2日まで（当初、無期限）	
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	スター・マンスリープラス	「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」および「損保ジャパン日本株マザーファンド」の受益証券
	損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド	米国ドル建のMBS
	損保ジャパン日本株マザーファンド	わが国の株式
運用方法	<p>①主として「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」および「損保ジャパン日本株マザーファンド」の受益証券等に投資し、ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックス（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、下記の資産配分比率を基準とします。 「損保ジャパンTCW・MBSマザーファンド」80% 「損保ジャパン日本株マザーファンド」20% なお損保ジャパンTCW・MBSマザーファンドの米国ドル建てMBS運用にかかる権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p> <p>③米国ドル建て住宅ローン債権担保証券（モーゲージ証券・Mortgage Backed Securities、以下単にMBSといいます。）の運用にあたっては、独特なリターンとリスクの特性分析に留意し個別銘柄選定とポートフォリオ構築を行ない、デュレーションをブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックスのデュレーションから上下1.5年の範囲内に維持しつつアクティブに運用することを基本とします。</p> <p>④MBSの投資対象証券は、米国政府または米国政府系機関保証のもの、またはAA格相当以上の長期格付が付与されている民間発行のものに限ります。</p> <p>⑤実質米国ドル建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しますが、原則として、債券の利子収入を中心に毎月安定的な分配を行い、毎年6月、12月の決算時には配当収入及び売買益（評価損益を含みます）を上乗せして分配することを基本方針とします。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

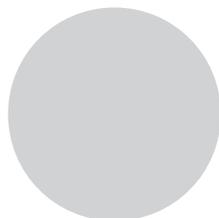
当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

○組入ファンド

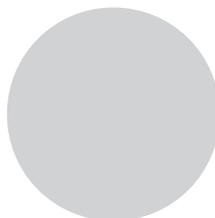
償還時における組入ファンドはありません。

○資産別配分



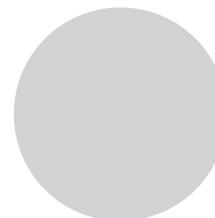
コール・ローン等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

(注) 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第169期末	償還時
	2017年10月2日	2017年11月2日
純資産総額	146,725,030円	147,091,382円
受益権総口数	173,036,264口	172,042,070口
1万口当たり基準(償還)価額	8,479円	8,549円73銭

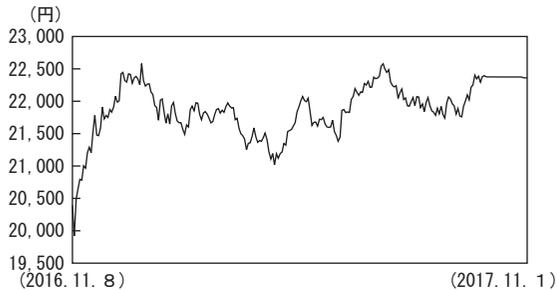
※当作成期間(第169期～最終期)中における追加設定元本額は36,160円、同解約元本額は1,012,071円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド>

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

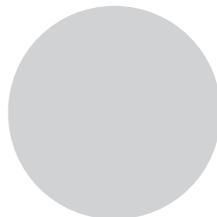
(2016年11月9日～2017年11月1日)

項目	
その他費用 (保管費用)	25円 (25)
(その他)	(0)
合計	25

○組入上位10銘柄

償還時における組入銘柄はありません。

○資産別配分



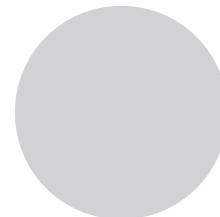
コール・ローン等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

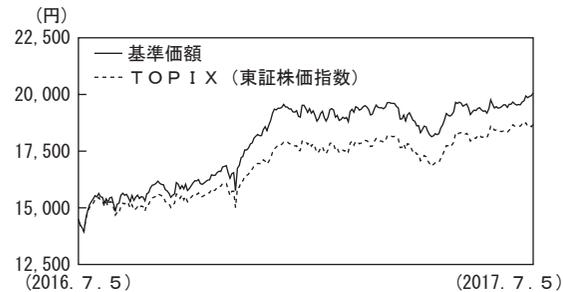
(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの償還日（2017年11月1日）のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<損保ジャパン日本株マザーファンド>

○基準価額の推移



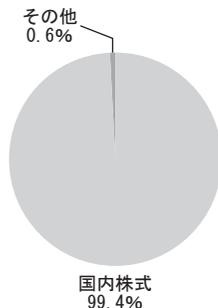
・ベンチマーク (TOPIX (東証株価指数)) の推移は、2016年7月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○1万円当たりの費用明細

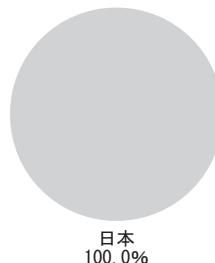
(2016年7月6日～2017年7月5日)

項目	
売買委託手数料 (株式)	23円 (23)
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	23

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万円当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ(1万円当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2017年7月5日)現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	3.8%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
3	KDDI	情報・通信業	3.2%
4	本田技研工業	輸送用機器	3.1%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	2.9%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.8%
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.7%
8	第一生命ホールディングス	保険業	2.6%
9	日立製作所	電気機器	2.4%
10	デンソー	輸送用機器	2.4%
組入銘柄数		89銘柄	

■指数に関して

○当ファンドのベンチマークについて

当ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス*（円ベース）80%と東証株価指数（TOPIX）20%の合成インデックスで、設定日を10,000とし、委託会社が計算したものです。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。